

高等学校 令和5年度（1学年用）教科 地理歴史 科目 地理総合

教科：地理歴史 科目：地理総合 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～5組

教科担当者：

使用教科書：（わたしたちの地理総合 世界から日本へ（二宮書店））

教科 地理歴史 の目標：

【知識及び技能】現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解するとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。

地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会に見られる課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。

地理や歴史に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い視野を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土や歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。

科目 地理総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の多様性や、防災、地域や地球の課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。	地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとする大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	単元 球面上の世界 【知識及び技能】 球体としての地球の特性を理解させ、季節や気候が変化する要因を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 世界地図の図法の読図を基に、方位や時差を求める力を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 地球儀や地図を用いた作業学習に積極的に取り組ませる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 地球を球面ととらえ、季節変化や時差が生じる理由を理解している。 【思考・判断・表現】 世界地図の特徴を理解したうえで、使用目的によって適切な地図を選択することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地球儀や地図を用いた作業学習に取り組んでいる。	○	○	○	6
	単元 国家の領域と領土問題 【知識及び技能】 国家を構成する三要素を理解させ、日本の領土問題について歴史的背景を踏まえて理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 国境があることで世界の人々の生活にどのような影響があるか考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 国家の在り方や国際問題、領土問題に関心を持たせる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 国境線の地理的・歴史的背景を知り、国境の意義を理解している。 【思考・判断・表現】 地図帳を使用し、世界の自然的国境や人為的国境を探し出すことができる。また、日本の領域をめぐる問題を考察し、まとめることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 国家の在り方や国際問題、領土問題に関心をもって	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	単元 国内や国家間の結びつき 【知識及び技能】 世界の様々な国と日本が観光や貿易・物流などを通してどのようなつながっているか理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 技術が発達したことにより世界や地域の人々の暮らしがどのように変化したのか考察させる。 【学びに向かう力、人間性等】 日本はどのような役割を求められているか政治・経済の両面を踏まえて追究させる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 観光客の推移や分布、交通網の発達と現状、各国の貿易品目や貿易量がどのようになっているのか理解している。 【思考・判断・表現】 観光客の推移や分布データの読取や交通・通信の発達によるメリット・デメリットを考察している。 【主体的に学習に取り組む態度】 国際社会の一員として、日本はどのような役割を求められているか政治・経済の両面を踏まえて追究している。	○	○	○	4
単元 自然環境と防災 【知識及び技能】 日本や世界でみられる自然災害を基に、災害への備えや対応の重要性を理解させる。 【思考力、判断力、表現力等】 様々な自然災害に対応した地図等の情報を収集し、まとめる地理的技能を身に付けさせる。 【学びに向かう力、人間性等】 地震や津波、台風などの災害に備えるために、日常生活において高い防災意識をもたせる。	・指導事項 ・教材 ・一人1台端末の活用 等	【知識・技能】 地震や津波、台風などの災害に備えるための知識を持ち、災害発生時の対応策や避難行動を理解している。 【思考・判断・表現】 ハザードマップや新旧地形図などの地図から災害のリスクを読み取ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 地震や津波、台風などの災害に備えるために、日常生活において高い防災意識をもっている。	○	○	○	8	
定期考査			○	○		1	

2 学 期	<p>単元 自然環境</p> <p>【知識及び技能】 内的営力と外的営力の二つの力が働き、様々な地形が形成されていることを理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 山地・平野・海岸部に形成される地形について、形成される位置や地形の概形を図で表現させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 生徒自身が住んでいる場所や身近な地域における、地形と人々の暮らしに関心をもたせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 地球上の地形は内的営力と外的営力のバランスによって成り立っていることを理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 山地・平野・海岸部では、人々の生活とどのように関わっているのか考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 生徒自身が住んでいる場所や身近な地域における、地形と人々の暮らしに関心をもっている。</p>	○	○	○	10
	定期考査			○	○		1
	<p>単元 気候と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 地形、気候、植生、水環境を総合してその地域の自然環境が形づくられる理由を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 写真や雨温図などを判読して、それぞれの気候帯を推測させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 地球上の気候の成り立ちに関心を持ち、各地域でみられる気候の違いについて追究させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 熱帯、乾燥帯、温帯、冷帯、寒帯について、各気候区の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 写真や雨温図などを判読して、それぞれの気候帯の特徴を推測できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 各気候区に暮らす人々の生活について、積極的に理解しようとしている。</p>	○	○	○	8
定期考査			○	○		1	
3 学 期	<p>単元 産業の発展と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 生活文化を支える中心となっている産業が農業から工業へと変化した過程を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 写真や分布図から農業地域や工業地域の特徴を推測させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 農業の発展が地域の食文化を作り上げる過程や工業の発展によって地域性がどのように形成されるか追究させる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 農業地域区分と気候区のかかわりについて、理解している。世界の工業生産の変化について理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 農業地域を気候区分や地形図と比較させ、農業地域が形成された背景を考察できる。また、現在の世界の工業について、国際分業の視点で説明できる。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 農業の発展が地域の食文化を作り上げる過程や工業の発展によって地域性がどのように形成されるか追究している。</p>	○	○	○	4
	<p>単元 言語・宗教と生活文化</p> <p>【知識及び技能】 言語や宗教の世界分布の特徴を読み取り、その分布の特徴を理解させる。</p> <p>【思考力、判断力、表現力等】 言語や宗教の世界分布図を読み取り、その分布について歴史的背景などを踏まえ説明させる。</p> <p>【学びに向かう力、人間性等】 自分たちの生活と言語・宗教との関係について関心をもたせる。</p>	<p>・指導事項</p> <p>・教材</p> <p>・一人1台端末の活用 等</p>	<p>【知識・技能】 言語分布の特徴を理解している。また、仏教、キリスト教、イスラム教の世界分布の特徴を理解している。</p> <p>【思考・判断・表現】 言語の世界分布図を歴史的背景に基づいて説明できる。また、宗教が伝播していく過程を考察している。</p> <p>【主体的に学習に取り組む態度】 自分たちの生活と言語・宗教との関係について関心をもっている。</p>	○	○	○	4
	定期考査			○	○		1
合計							
55							